

# 組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ

## お客様の声No. 019 公益財団法人 実中研 先端医科学研究部・免疫研究室 片野 いくみ 様

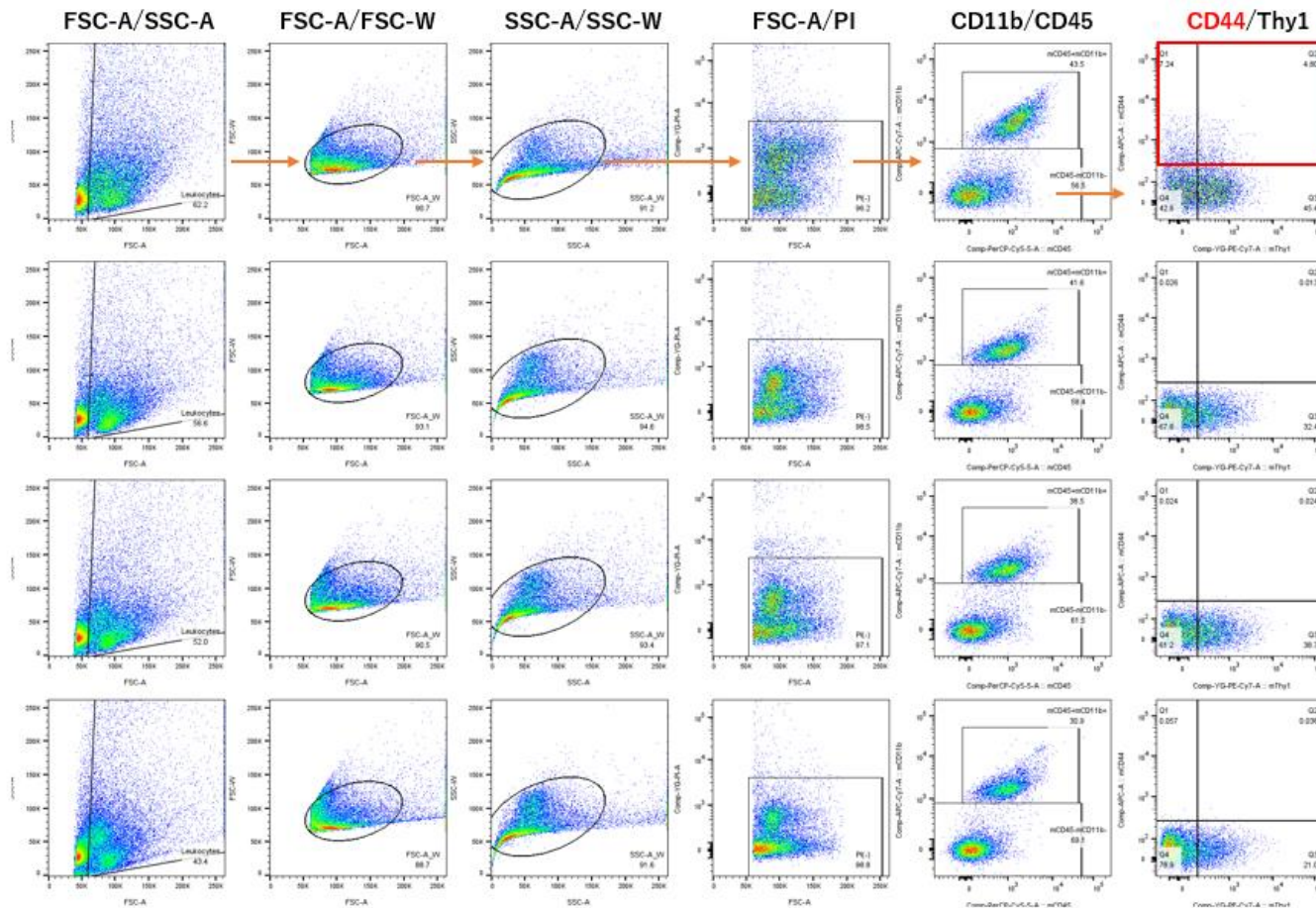


#1  
gentleMACS  
(Papain+DNase1  
In RPMI1640 (37°C, 60 min))

#2  
Omics bundle  
Papain+DNase1  
In RPMI1640 (37°C, 10 min)

#3  
Omics bundle  
Enzyme C  
In D-PBS (37°C, 10 min)

#4  
Omics bundle  
Enzyme C  
In D-PBS (4°C, 15 min)



CD45+CD11b+: microglial marker (ここには出していませんが、他のマイクログリアマーカもしっかり検出できました)  
Thy1+: Neuron marker  
CD44+: Astrocyte (middle)\*, macrophage\*, OPC\*, fibroblast etc. (\*は炎症時に発現上昇)

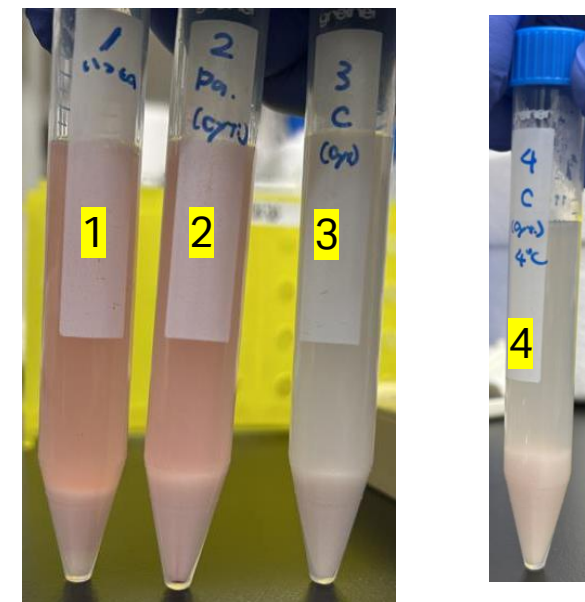
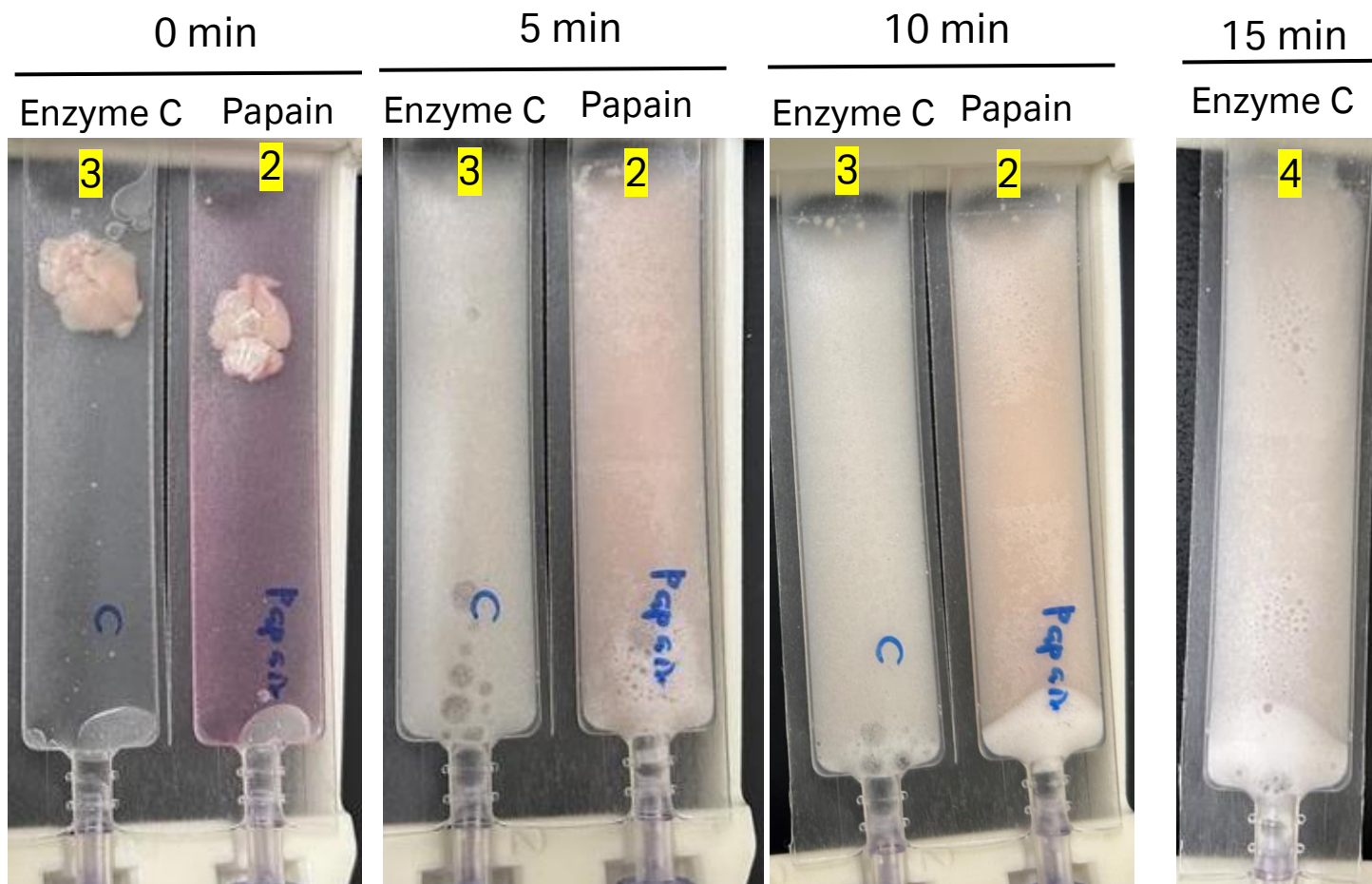
CD44: Omics bundle仕様で検出不可。  
⇒ CD44は細胞外ドメインが大きく柔らかい構造を持ち、物理的ストレス(剪断)されやすいためと考えられる。

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ  
お客様の声No. 019 公益財団法人 実中研 先端医科学研究部・免疫研究室 片野 いくみ様



Omics bundle (37°C, 10min, 200rpm)

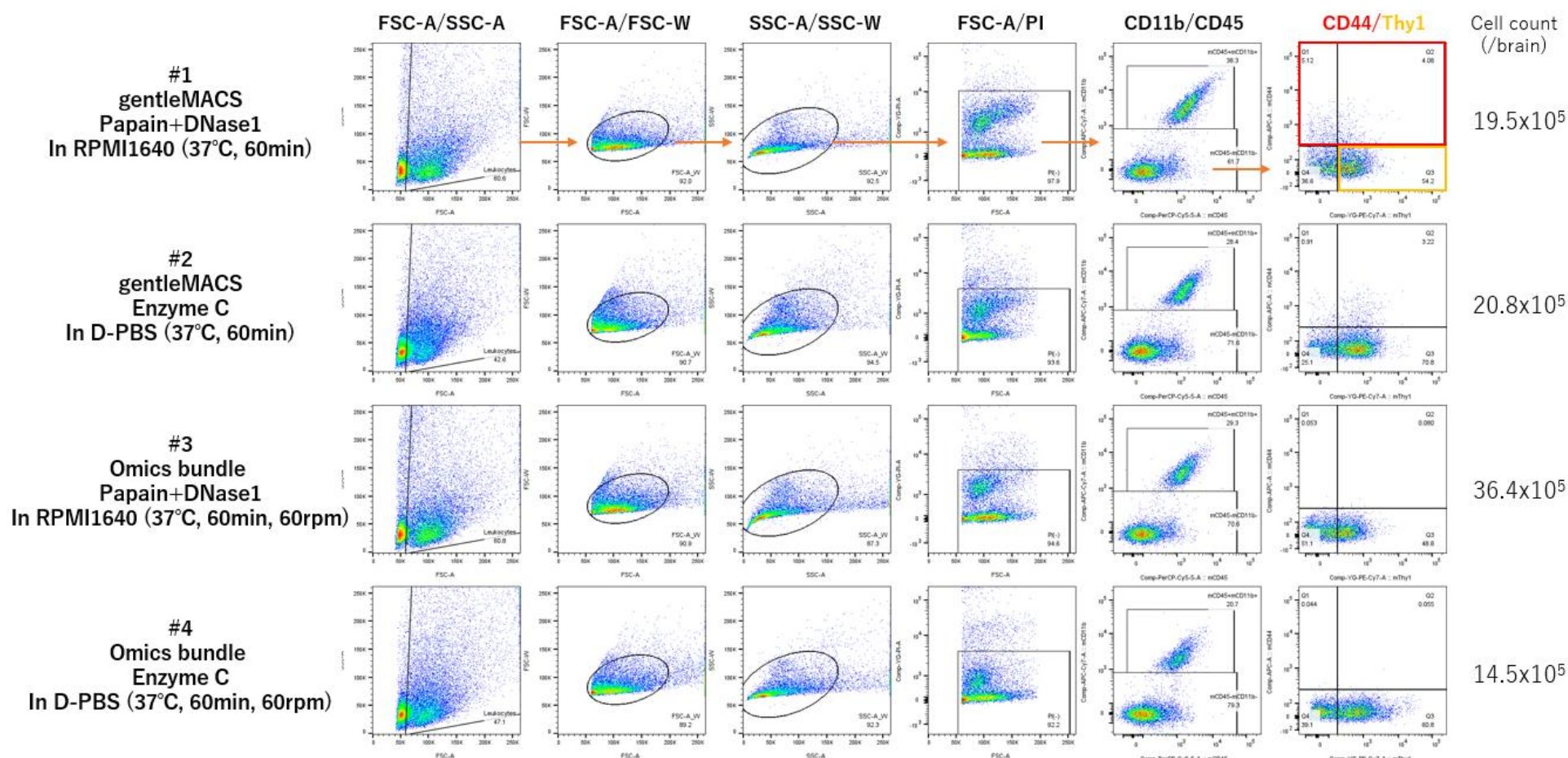


※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

<https://www.cytivalifesciences.co.jp/technologies/tissue-dissociation/voc/dissociation-enzyme/index.html>

# 組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ

## お客様の声No.019 公益財団法人 実中研 先端医科学研究部・免疫研究室 片野 いくみ様



CD45+CD11b+:microglial marker (ここには出していませんが、他のミクログリアマーカーもしっかり検出できました)  
 Thy1+: Neuron marker  
 CD44+:Astrocyte (middle)\*, macrophage\*, OPC\*, fibroblast etc.. (\*は炎症時に発現上昇)

**CD44:**Omics bundleで低速・長時間で緩やかに反応させても検出不可に。  
**Thy1:**Enzyme-Cの方が、検出感度(?)は良かったです。

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客様のサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客様各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ  
 お客様の声No.019 公益財団法人 実中研 先端医科学研究部・免疫研究室 片野 いくみ 様



**Omics bundle**  
(37°C, 60min, 60rpm)

0 min

5 min

15 min

30 min

60 min

#3:(3/6の37°C, 200rpmと比較して)反応遅い。  
 #4:明らかにほぐれてない(脳の位置の問題?)

30min→60minに延長したにも関わらず、  
 組織塊が残った。成体脳は、ある程度の攪拌速度が必要?

**gentleMACS**  
(37°C, 60min)

0 min

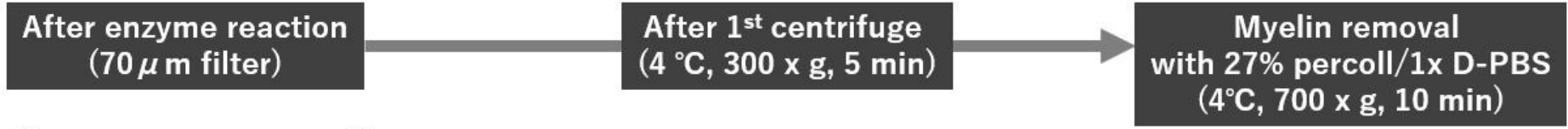
30 min

60 min

#1:通常通り  
 #2:#1と変わらない?  
 粘度が高い印象。

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

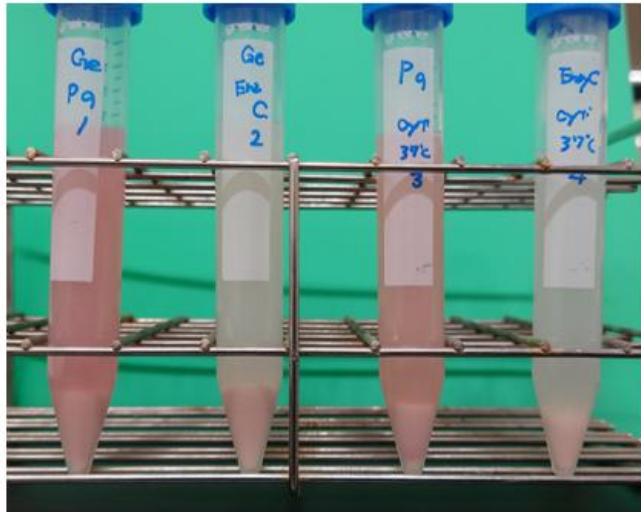
組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ  
 お客様の声No. 019 公益財団法人 実中研 先端医科学研究部・免疫研究室 片野 いくみ 様



#4 Omics bundle Enzyme C In D-PBS (37°C, 60min, 60rpm)  
 #2 gentleMACS Enzyme C In D-PBS (37°C, 60min)  
 #3 Omics bundle Papain+DNase1 In RPMI1640 (37°C, 60min, 60rpm)  
 #1 gentleMACS Papain+DNase1 In RPMI1640 (37°C, 60min)

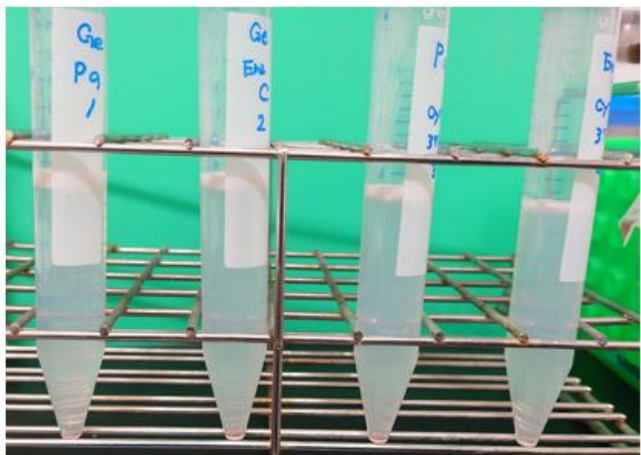


#1 #2 #3 #4



#1, 2:ペレット変わらない  
 #3:ペレット小さめ  
 #4:ペレット小さい

#1 #2 #3 #4



#1のペレット量に比例してMyelin層の厚さを持つ  
 このペレット量も同様の傾向。

#1, 2:酵素反応後の残渣量、あまり変わらない  
 #3:残渣多め(3/6の37°C, 200rpm, 10minと比較して)  
 #4:明らかに残渣多い。

Papain/DNase1液で処理した細胞懸濁液よりも、Enzyme-Cの液で反応させた方が明らかに粘性が高く、その後のナイロンメッシュへパスする際も通りが遅いなど違いが認められました。元々Enzyme-Cに入っているかは分かりませんが、DNase1を追加で入れたいと思いました。

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。